

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス浦和教室(児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	2024年 7月 30日		～	2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年 7月 30日		～	2024年 8月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 6日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員のスキルが高い。 →保護者の方から信頼感を持ってもらえている。	日々、指導員間でアイデアや意見を出し合うことで、お子様への理解を深め、療育の手段を考えている。 研修に参加したり、本を読んで知識を深めたり、職員間での情報共有や意見交換が頻繁に行われている。	専門性を高めることでより、一人一人に適切な療育が提供できると思うので、より研修や勉強会の機会を増やしていく。
2	子どもとの信頼関係が出来て、楽しく通ってもらえている。	訪問支援も実施し、子どもたちの様々な面を見ることができているので、一人一人の理解や共通認識もできている。 職員間でしっかり子どもたちの情報共有や交換ができている。	子どもたちの関係作りや、子どもたちの理解を深め、より楽しく、充実した時間を過ごしてもらえるように努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方への支援が不十分	・ベアトレや研修会などの実施がスケジュール的に難しい。 ・まだ実施において積極的に動けていない。	情報を集め、どのようなことが企画・実施できるかを職員間で前向きに検討していく。
2	地域との関りが薄い。	地域との交流の場を設けたことがないため、どのようなことが出来るのか分からない。 また、事業所に通所していることを周りに伏せている方もいらっしゃるのでは、難しさも感じている。	情報を集め、どのようなことが企画・実施できるかを職員間で前向きに検討していく。
3	就学支援	今まで、幼児さんを対象に就学支援だけに特化した療育の実施は積極的に行ってこなかった。	不安を抱える保護者の方はたくさんいらっしゃると思うので少しでも力になれるよう、今後企画していく。このような療育が提供できれば、訪問支援・相談支援もより充実し、支援が深まる。